

⑤ 真高生が除雪ボランティア

2月12日(水)、真室川高校の1・2年生56名が除雪ボランティアを行いました。この取り組みは、ボランティアグループ「あおぞら」や社会福祉協議会、民生児童委員の協力を得て行っており、今年で9年目を迎えました。

生徒たちは6班に分かれ、高齢者世帯の除雪作業を行いました。参加した生徒は、玄関先や家の裏に積もった雪を丁寧に取り除き通路を確保するなど、除雪作業に励みました。



⑥ 商店街福引大会

1月5日(日)、山形銀行真室川支店駐車場で、年末・年始大売出し抽選会(真室川商店街協同組合)が開催されました。この抽選会は毎年開催されているもので、今年も多くの来場者で賑わいました。景品は商店街で使用できる商品券となっており、特賞の方には1万円分の商品券がプレゼントされました。

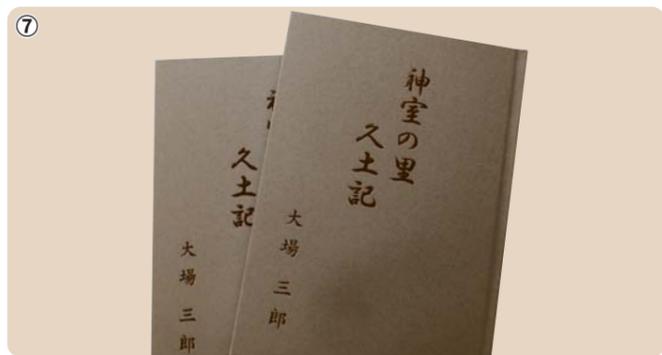


⑦ 本を寄贈

当町新橋通地区在住の大場三郎氏より、中央公民館へ図書が寄贈がありました。

これは、大場氏が教員時代を中心とした経験を書き綴った回想録で、戦後から現在にいたる町の歴史や災害年表、農業に関する事など、大変興味深い内容となっています。

郷土資料として貸し出しも行っていますので、ぜひご覧ください。



⑧ 新庄雪まつりにうめ子ちゃん登場

2月9日(日)に開催された第43回新庄雪まつり「ご当地キャラサミット」に真室川町のイメージキャラクターうめ子ちゃんが参加しました。子ども達とふれあったり、メインステージで真室川の魅力をPRするなど、大活躍だったうめ子ちゃん。サミットの中で行われた来場者による総選挙では、見事「すてきで賞」に輝きました。



学沖余 い九祝牛年前5た な連変生での性さて一ら人し更てで てして(こ)っにつに繩伊て月にる ぶ自裕全る州い汁はは年や5か作え産迎よにれ一地区祭し達てにいた第聞て 24日 真室川町長 井上 薫

沖繩市産業祭りに参加した真室川町の学生たち。体験塾でうどん作りを行いました。



① 視聴覚教材コンクールで最優秀賞

読み聞かせサークルこだま(代表:佐藤奈津紀氏)が作成した絵本、「ラッキーとの日々～東日本大震災・愛犬と家族の絆をつづった手紙～」が最上地区及び県の自作視聴覚教材コンクール・社会教育部門で、最優秀賞を受賞しました。

この作品は、震災により福島県から真室川町に避難された家族の体験談を聞いたこだまのメンバーが「多くの人に聞いてもらいたい」という思いで、制作を開始しました。避難区域に残り続けてしまった愛犬ラッキーを思う家族の気持ち、再会の喜び、そしてそれぞれの新しい生活までの物語が描かれています。



② 全国小学生ソフトテニス大会に出場します

真室川ソフトテニスクラブスポーツ少年団の庄司琴里選手(小5・宮町一)と井上あゆ選手(同・秋山)が、県の最終選考会で5年生の部3位となり、3月29日～31日に千葉県白子町で開催される全国大会へ2年連続で出場することになりました。全国大会では日ごろの練習の成果を十分に発揮して頑張ってもらいたいと思います。



③ 地元の食材を楽しむ

町内の各小中学校では地産地消への取組として、「心をはぐくむ給食週間」という取組を行っています。この取組は、給食を通して地元の食材にふれあってもらうことで、地元の魅力を児童たちに知ってもらいたいという思いから行われているものです。

1月24日(金)は、地元の山菜を使った給食が提供されました。真室川町で収穫された雪うるいを使ったサラダや、みつばを使ったピラフなどがテーブルを彩り、児童たちは新鮮な山菜がふんだんに使われた料理を美味しく食べていました。



④ 手打ちうどんにまざれや

2月15日(土)、差首鍋地区生涯学習センター「まざれや」にて、体験塾が開催されました。今回は、一般参加者と山形大学フィールドワークの応用編に参加した大学生、29名がうどん打ちを体験しました。参加者は協力してうどんをこね、使い慣れないうどん切り包丁を一生懸命動かしていました。出来上がった麺がカレーうどんにして出されると、参加者は美味しく頬張っていました。